



女性活躍支援セミナーに参加しました！

このたび、日本紡績協会主催の女性活躍支援セミナー（全2回）が開催されました。

プライム市場上場企業を対象とした女性役員比率における数値目標が設定されましたが、紡績各社は女性管理職の比率が低く、女性役員候補者人材の育成加速化が喫緊の課題となっています。また、企業の持続的発展のためには多様な人材の活躍が重要であり、女性の活躍推進が企業の重要な経営戦略となっています。今回のセミナーはこれらの背景を踏まえ開催されました。会員企業に参加が募られ、クラブウから5人が参加しましたので、内容をご紹介します。



▲クラブウからのセミナー受講者の皆さん

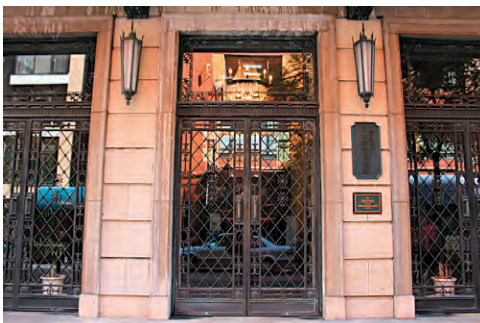
■研修概要

- 【日時】** 第1回 2024年11月6日（水）13:30～16:30
（終了後、綿業会館の見学会・懇親会）
第2回 2025年2月7日（金）13:30～16:30

【場所】 綿業会館（大阪市中央区）

【講師】 森 仁美 氏
（公益財団法人 21 世紀職業財団 客員講師）

- 【内容】** ・ダイバーシティ推進セミナー
ダイバーシティや女性活躍推進について学び、直面している現状や課題について考える。（マインドセット）
・キャリア自律セミナー
キャリア形成のためのフレーム理解、キャリア・デザインスキルの修得。自己理解を深め、主体的に「自律的キャリア」を描く。
・社外ロールモデルとの交流会



研修が開催された綿業会館は国の重要文化財に指定されている歴史的建造物



参加者の感想



●セミナーに参加しようと思った理由

・他社での女性の働き方や環境等を知ることにより、今後の自身の働き方に生かせるヒントを見つめたいと考えたため
また他社で働く方と交流できる貴重なチャンスであり、新たなつながりができればと思ったため。

・私自身、管理職に興味はあるものの魅力をあまり感じず、プラスなイメージを持っていなかったため、話を聞いてみようと思いました。

●セミナーの内容で印象的だったこと、今後生かせそうなこと

・キャリア向上というイメージだったのですが、キャリアとは「人生そのもの」と教えていただいたことが学びでした。
また、モチベーショングラフを作成し、チームで見せ合った際、他の方の人生山あり谷ありの中、頑張つてこられた姿に勇気をもらいました。

●ロールモデル交流会の内容で印象的だったこと、今後生かせそうなこと

・実際に3社の管理職女性の話をフランクな場で伺うことができ、みなさん生き生きと仕事・プライベートを楽しんでおられる様子が印象的でした。また、本音で話してくださいといふと感じたので、遠い存在ではなく、身近な話として聞くことができました。

・年齢も近く、実際に管理職になられた方の話を聞いて、迷ったらチャレンジしてみようと言われていたことが印象的で、私もそうしてみたいと思えるようになりました。登壇された方は、家庭の事情を抱えながらも努力している人が多く、私も努力する意欲が湧きました。

・管理職になるからといって何か大きく変わるというよりは、ステップアップの一つと捉えるということ。
「やらないこと」を決めることで効率が上がった話を伺い、私も取り入れようと思った。



●セミナー全体に関しても感想

・同じテーブルでディスカッションをした方々とは、後日お食事に行くことになり、今年もご縁が生まれました。年の近い他社の方とぎゅくづらんに仕事について話す機会を得られたことで、自分の仕事を客観的に振り返ることができました。

・管理職になってもネガティブなことばかりではないと知ることができたので、もし自分にチャンスが回ってきたらチャレンジしてみようと思えました。非常にポジティブになれるセミナーだったと思います。会社としても女性管理職が少ないことにもっと積極的にアプローチしてほしいと思います。

・たくさん同業他社の女性と交流でき、働く仲間がいる、と勇気づけられた気がしています。こういったセミナーに参加することは視野を広げる良い機会だとあらためて感じました。
自分のこれまでのキャリアを振り返り、山あり谷あり、さ

まざまなことを経験する中で、困った時には必ず助けてくれる人がいたと気づくことができました。さまざまな変化に好奇心を持って柔軟に適応しながら、これまでの経験をこれからのキャリア形成に生かしていきたいです。

